

ますます、いよし。



伊予市

議会だより

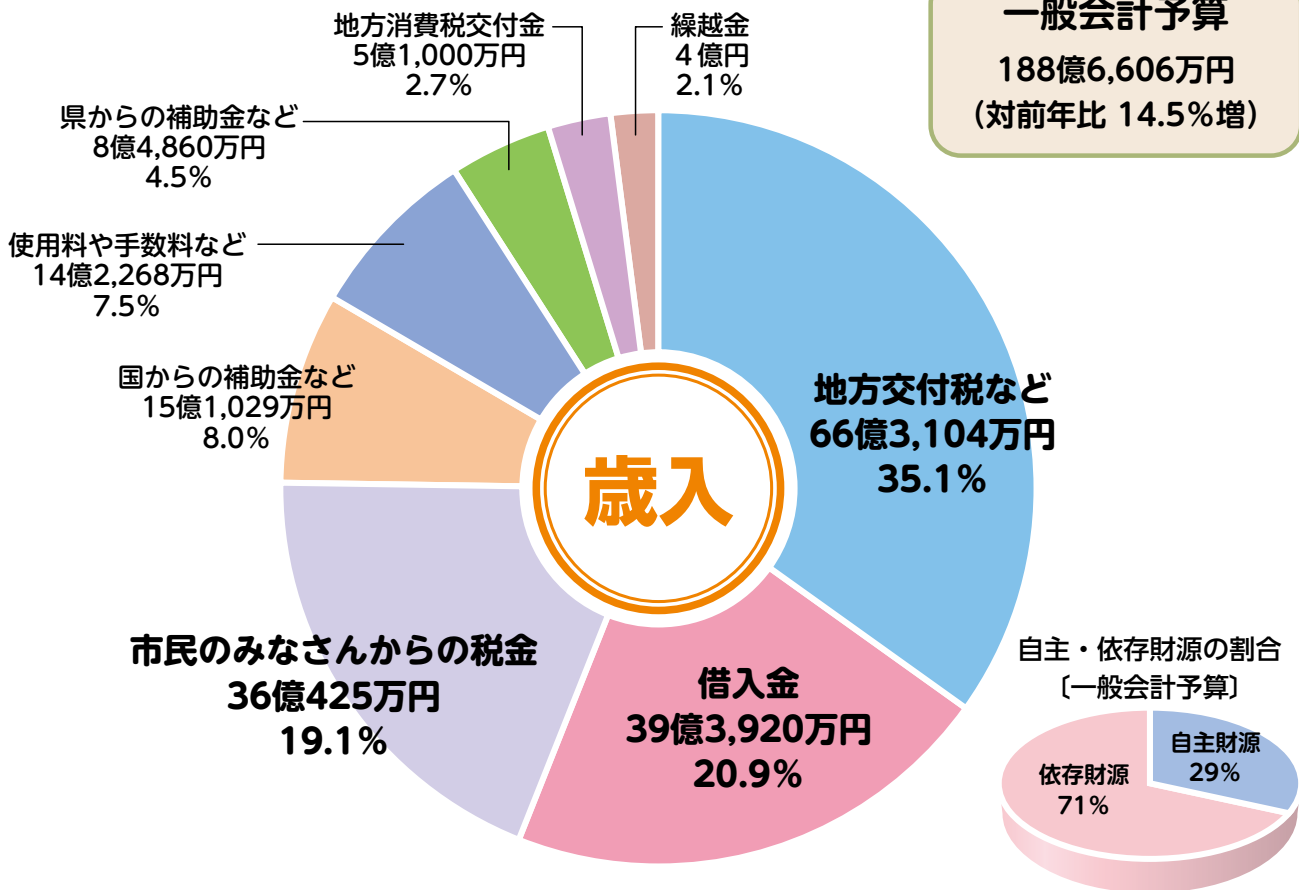
No.40 2015.5.1 発行
3月定例会



平成27年4月7日 上灘保育所入園式

- 平成27年度当初予算 ②
- 常任委員会報告 ④
- 一般質問(4人が市政を問う) .. ⑥
- きらきら・人 い～よ ⑩

スマートIC整備事業等を計上



重点施策

都市基盤の整備

- (仮称) 中山スマートICの路線測量設計業務・用地調査
- コミュニティバス (伊予地域) の運行開始

やすらぎとぬくもりのまちづくり

- 子ども・子育て支援事業計画の策定と子育て支援の充実
- 特定不妊治療費助成事業の開始
- 通院医療費助成の拡充に向けた見直し

はつらつ住みよいまちづくり

- 水道施設の耐震化
- 災害に備えた防災体制の充実強化
- 防災マップの作成・配布や避難行動要支援者の名簿整備

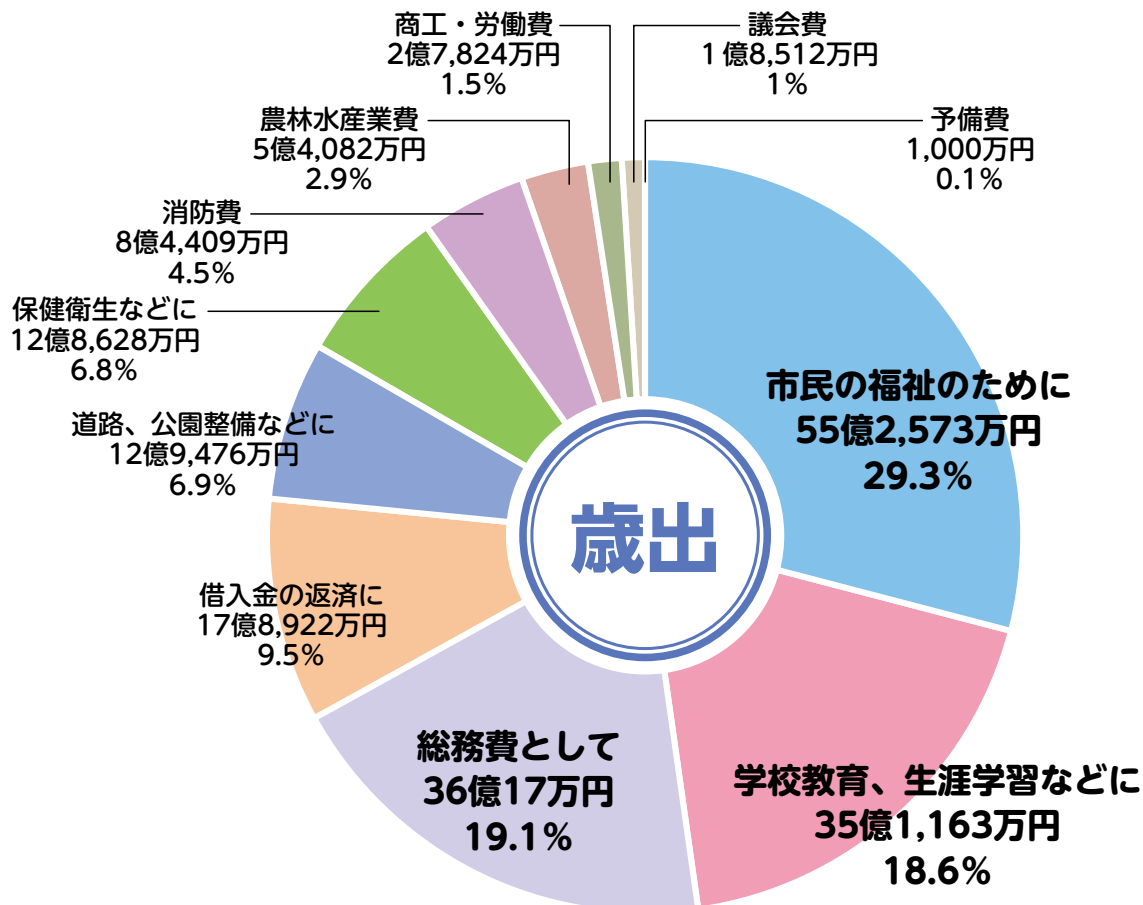
うるおいと生きがいのひとづくり

- 地域と学校が連携して子どもを守り育てる教育環境の構築
- 就園奨励費補助金の拡大に向けた検討
- 学校施設耐震化率100%の達成

もりもり元気なしごとづくり

- 農林水産業・商工業の活性化対策の推進
- プレミアム商品券発行事業の実施

新規事業として コミュニティバス運行事業



特別会計予算

113億3,980万円
(対前年比 4.6%増)

一般会計とは別に、公共料金、利用料等の独自の収入を持つ特別会計があります。主な会計として、国民健康保険、介護保険、公共下水道などがあります。

| 主な事業 | 予算額 |
|---------------------|------------|
| 本庁舎建設事業 | 15億8,321万円 |
| 市内小・中学校サイクル扇設置及び耐震化 | 2億4,310万円 |
| 老人福祉施設建設事業 | 1億1,196万円 |
| スマートインターチェンジ整備事業 | 6,274万円 |
| プレミアム商品券発行事業 | 5,720万円 |
| コミュニティバス運行事業 | 2,887万円 |
| 市制10周年記念事業 | 390万円 |

委員会報告

各常任委員会で審議した主な条例・予算等の概要を報告します。

総務委員会

市制10周年記念事業費

問

市民から応募のあったアイデアの審査方法は。

答

総務企画課

まず、職員による準備委員会において、どういった形で募集をするか原案を作成、検討した結果、「市民協働事業」という形で取り組むことを決定した。次に、応募があったものについて、10周年にふさわしい事業かどうか、目新しい事業かどうかといった観点から第1段階の振り分けをし、最後に理事者で構成する推進本部会議で選考・決定する形をとった。

問

市民のアイデアを市政にも反映しては。

答

総務企画課

最終的には、6案に絞られた訳だが、今回寄せられた多数の提案については、「市民提案事業」

の応募案とともに全課での情報共有し、各部署で現在実施している事業の中に取り込めるものはないか、また、新規事業として採用できるものはないか、あるいは、市民の皆様と協働して新たに構築できるようなものはないかなど、十分検討するよう指示している。

避難場所標識製作 設置工事費

問

災害発生時に混乱や勘違いをしないような内容の標識になっているのか。

答

危機管理課

今回、シンプルな表示や蓄光により、暗くなっても文字や絵が光り避難場所が分かるような仕様としている。

また、浸水エリア内の避難場所であれば、避難する場合は2階以上に避難、土砂災害警戒区域内の避難所であれば、土砂

災害のおそれがある場合には使用できない旨を標識に表示している。



避難場所標識（港南中学校）

民生文教委員会

市内小・中学校教室 サイクル扇設置工事

問

設置に至る過程で、エアコン設置の協議はなかったのか。

答

学校教育課

サイクル扇の設置については、教育委員会は

もちろん、各学校との協議にも時間をかけて実施し、一定の理解を得ており、また、既に設置している学校等からの聞き取り調査でも一定の効果があったとの報告もあった。

エアコン設置は、財政面での問題が一番だが、環境面の問題、子どもの体調管理の難しさもあるので、困難であると判断して、サイクル扇の設置に至った。

図書館・文化ホール 等運営検討費

問

ワークショップの内容と市民参加は。

答

社会教育課

26年度は、建設ワークショップということで実施したが、27年度については、管理運営ワーク

ショップということで、担当課も委託業者も変更となる。また、市民参加については、新たに募集する予定である。



建設市民ワークショップの様子

産業建設委員会

伊予市老朽建物等の適正管理に関する条例の制定

問

条例に定める実態調査とは、どの程度の情報によって調査を行うのか。

答 都市住宅課

瓦が落ちかけている等の小さな情報でも現地確

認を行う。

問

緊急安全措置の費用は誰が負担するのか。

答 都市住宅課

瓦が落ちかけたり、木が折れかけたりした場合の処置に要する費用は、所有者に実費を請求するが、安全施設のような物については、市費で負担する。

プレミアム商品券
発行事業費補助金

問

本市が発行するプレミアム商品券は、どのような特徴を持っているのか。

答 経済雇用戦略課

市内で使用できる統一商品券を考えている。商工会議所あるいは、双海・中山商工会に登録してある店、更に今回の商品券に、参加したいと

いう商店があれば登録して使用できるようにすることで、消費者の消費活動を喚起できると考えている。

問

自治体によっては、医療機関でも利用できると聞くがその考えは。

答 経済雇用戦略課

医療機関の使用は、現在想定していないが、県や他市町とも内容を確認し協議したい。

※プレミアム商品券は、市が単独で発行する商品券と県と市が共同で発行する商品券の2種類があり、使用できる区域や発行時期が異なる。

◆次回の日程◆

次回、6月定例会の日程は、「広報いよし」6月号及び伊予市ホームページ（議会情報）に掲載されますので、ご覧ください

議案等議員別表決結果一覧表

※賛否の分かれた案件のみ記載しています。そのほかの案件については全会一致で可決されました。

| 平成27年第2回(3月)伊予市議会定例会 (会期:2月26日~3月20日 23日間) | | 議席番号 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 19 | 20 |
|---|---|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 氏名 | 三好 | 大野 | 高田 | 北橋 | 日野 | 門田 | 佐川 | 正岡 | 谷本 | 田中 | 岡田 | 田中 | 武智 | 久保 | 日野 | 若松 | 水田 | 西岡 |
| | | 議決結果 | 正 | 鎮司 | 浩司 | 豊作 | 猛仁 | 裕一 | 秋夫 | 千博 | 勝俊 | 裕昭 | 博助 | 弘 | 実 | 榮 | 健 | 孝行 | 恒二 | 孝知 |
| 議案第33号 | 平成26年度伊予市一般会計補正予算(第7号)について | 原案可決 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 議案第39号 | 平成27年度伊予市一般会計予算について | 原案可決 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 請願第2号 | 歴史教科書採択のための「総合教育会議」の「大綱」に関する請願 | 不採択 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 陳情第2号 | 全議員で構成する特別委員会を議会内に早急に設置し、原発事故による福島の被害状況を調査することを求めます | 趣旨採択 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 陳情第14号 | 「農業改革」の名による農業・農協つぶしをやめ、地域を守る陳情 | 不採択 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |

○：賛成 ×：反対 ※田中裕昭議長は採決に入っていません

4人が市政を問う

「一般質問」とは、行財政全般にわたる議員主導の政策の議論です。



日野 猛仁 議員

「地方創生」における長期ビジョンと戦略

問

雇用創出に向けた対応策は。

答 市長

雇用創出を含めた地方創生の一層の推進を図るため、第2次総合計画との関連が強い未来づくり戦略室を中心に庁内に部局横断的な組織を設置し、地域経済の活性化、産業振興に加え、人口減少対策を一体的かつ強力に押し進めたい。

問

企業誘致に関する取り組みと湊町臨海埋立地の

状況は。

答 市長

現在、関東、近畿圏の県人会関係者との情報交換や産業立地フェア等へ参加するとともに、起業、創業者の育成支援など地域内発型の産業振興にも努めており、今後も本市の立地条件や財政力に見合った推進策を積極的に構築したい。なお、湊町埋立地の残置については、引き続き、県と緊密に連携し、早期解決したい。

問

若い世代への支援策は。

答 市長

子ども子育て支援・新制度の4月スタートに併せ、放課後児童クラブ等の計画的整備、延長保育のニーズ調査、公立保育所の保育時間拡大、給食費無料化や中学生までの通院医療費助成の拡大を検討するなど、若い世代

が安心して子育てできる環境の整備に努めたい。

問

地域資源の掘り起こしと活用状況は。

答 産業建設部長

今年度実施の商工会議所主体のスイーツコンテストや伊予市グリーンツーリズム協議会等による双海地域の食材を使った手作りピザ体験。また、郡中まち暮らしガイドと歩く郡中味めぐり、中山フラワーハウスでの寄せ植えなど好評だった。今後も地域の特色を活かした観光振興を図りたい。

問

避難場所及び避難所の指定
災害種別における現状と今後の対応は。

答 総務部長

本市は災害種別ごとに

緊急避難場所等を指定している。全体で緊急避難場所47カ所、避難場所39カ所、このうち、土砂災害時に利用可能な施設は25カ所、収容可能者は約4万人で、災害の種別によっては、必ずしも使用できない。このため一人ひとりが周囲の状況変化に注意を払うとともに、テレビ等での最新情報の入手や市の避難情報等により、早めの対応を願いたい。今後、防災マップの配布など一層の情報提供に努めたい。



土砂災害時に、避難場所として利用できない施設の一つである「緑風館」

その他の質問事項

●地域コミュニティの活性化

一般質問

質問や答弁等の内容を詳しくお知りになりたい方は、伊予市ホームページ (<http://www.city.iyo.lg.jp>) の会議録検索システムをご覧ください。(随時更新)



門田 裕一 議員

地方創生の推進

問

「地方創生人材支援制度」の活用は。

答

市長

地方創生を推進する方法や組織など、明確な方向性が固まっていない。現時点では早計であると感じており、取り組み過程において、必要に応じ制度活用を進めたい。

問

周辺市町との連携のあり方は。

答

市長

現在、松山市が中心となって検討を進めている

連携中核都市圏構想でも、生活圏を同じくする近隣の自治体が一丸となって圏域全体の活性化を図っていくことが大きな目標、目的とされている。規模や個性など各自治体の実情を踏まえた役割分担のもとで、今まで以上に連携、協力体制の強化に努めたい。



ボランティアによる体験活動「双海町こども教室」の様子(双海地区)

問

政策目標設定と政策検証の枠組みは。

答

市長

地域の実態に見合った

実現可能な政策目標を設定するとともに、効果的な政策検証の仕組みを構築し、円滑かつ実効性の高い施策推進を図りたい。

投票環境の改善

問

期日前投票の際、負担軽減のため、事前に宣誓書に記入して、持参できるようにしてほしい。

答

行政委員事務局長

宣誓書を事前に印刷して送付したり、入場券の裏に印刷する方法は、印刷内容が極めて小さくなり、かえって読解に苦勞をかけることが想定される。よって、選挙管理委員会のサイトからダウンロードする方法が、現時点では有効と考えられるが、さらに検討したい。

問

投票所へのメモ等の持ち込みはできないか。

答

行政委員事務局長

投票者が、候補者等の名前を忘れたときのために、あらかじめ用意したメモを持ち込むことは問題ない。ただ、その行為が選挙運動に当たるといえるのであれば法に抵触するおそれがあるので、十分な注意が必要である。

問

投票所への移動に利用できる福祉サービス「移動支援」の導入は。

答

行政委員事務局長

現時点では考えておらず、住民の皆様が互いに声をかけ合うなどの相互努力により投票行動を強めていただきたい。

その他の質問事項

- おいしい給食を
- 女性の活躍促進や仕事と子育て等の両立支援を

- 伊予市コミュニティバスの運行について

ここのが聞きたい



水田 恒一 議員

原子力発電所と 地元自治体

問

伊方原発再稼働をめぐり、地元同意の対象を市長はどう考えるか。

答 市長

地元同意の対象に法的な枠組みはなく、国は各地域に判断を委ねている。また、県も伊方町の判断や周辺地域の意見、県議会等の論議を十分踏まえて、総合的に判断するとしており、範囲は特定できていない。さらに、再稼働についても、国の明確な方針が示されていない現段階では白紙の状態としている。

問

このため、本市としては、国、県の動向を注視し、市議会などの意見を踏まえ判断したい。

答 市長

避難計画の30キロ圏内という政府方針は妥当か。また、今後本市はどのように対処するのか。

国の原子力防災対策指針では、原子力施設からの距離に応じて重点区域を定めており、UPZ（※）は、概ね5キロから30キロとしている。風向き等によっては広範囲に汚染が広がる可能性は否定できないが、本市が策定する避難計画は県の避難計画と整合性を図る必要があり、今後、国、県の動向を注視して必要に応じ検討したい。

※UPZとは？

国際原子力機関が国際基準を踏まえ設定したも

ので、緊急時に備えた準備や緊急時計画を策定しておくために設けられた区域のこと。



再稼働問題に揺れる伊方発電所

未使用地（市有地）の有効利用

問

未使用地の現状と有効活用について。

答 総務部長

市有地のうち現在行政目的に活用されていない土地は、総面積で約63万㎡、うち約8割が山林である。残り2割の約13万㎡

の未使用地のうち、門前地区分譲住宅用地は、8筆中1筆は売却したが、残りは売却できていない。米湊大角蔵の土地は、現在4筆中2筆が約17年間未使用状態である。

その他県合同庁舎跡地や雑種地、宅地等については、現在、行事開催時の臨時駐車場など一時的な需要に供している。貸し出しについては、団体等が希望すれば、有償で貸すことも可能で、また、公共的団体が利用

する場合には、無償対応が可能な場合もある。市有財産の活用方法については、今後、取り組む公共施設の総合管理の検討や固定資産の現状をより詳細に把握する中で、市民サービスへの原資としてどう活用していくか十分検討したい。

その他の質問事項

- ふるさと納税制度
- 生活保護制度の矛盾
- 振り込め詐欺と高齢者

一般質問

質問や答弁等の内容を詳しくお知りになりたい方は、伊予市ホームページ (<http://www.city.iyo.lg.jp>) の会議録検索システムをご覧ください。(随時更新)



大野 鎮司 議員

ふるさと納税制度の推進(パート3)

問

手軽に寄附をしていただけに、クレジット決済を導入しては。

答

総務部長

現在、本市の受納実績では、謝礼用小包と送料で寄附金額の約6%が消費されており、これにクレジット決済に係る経費を加えると寄附金額の約12%、1割が消費される計算になる。今後、寄附金を受けるための経費も勘案しながら応援しやすい環境を整備して提供することが必要と考える。

問

寄附金の使い道の「見える化」を

答

総務部長

寄附の申し出の際に、本市に対する意見や要望をお尋ねしているが、使い道については漠然としたものしかなく、現在は一般財源として活用させていたでいる。具現化(見える化)に向けては、引き続き研究をした

問

今回で3回目の質問になるが、本当に改善するつもりがあるのか。

答

副市長

旧態依然でまことに申し訳なく、もう一度未来づくり戦略室に命じて、アイデアをつくらせ、これを具体的に実施に移していく体制を整えていきたい。

安心して子育てができる、まちづくりを

問

昨年質問した、病児、病後児保育に対する、その後の取り組みは。

答

市長

市内の小児科医等や医師会とも協議をしたが、医師の年齢的な問題や施設の設置場所の問題等があり、開設には目途が立っていない。このため、当面の対応策として、平成27年度からファミリー・サポート・センターを活用し、代替事業として、病児緊急対応強

問

化事業を実施するとともに利用者への補助も実施する。
市内での実施には医師の協力が必要不可欠であるので、今後は区域を広げて、市外の医療機関等にも働きかけたい。

答

市長

保育士確保プランに合わせ、賃金アップや多様な勤務体制など、さらに働きやすい本市独自の施策を。

本市の公立保育所では各保育所とも交代制勤務のシフト制を採用しており、勤務シフトを組む際には個人の事情も聞き取りをするなど、通常考えられる勤務形態以上の対応を行っている。

今後も保育士自らが働きながら、あるいは復帰しやすい体制を築くべく検討を加えたい。

その他の質問事項

● 移住・定住促進

**伊予市双海町
ジュニアリーダー会**

『いつまでも、子どもたちの成長を見守りたい』

●ジュニアリーダーをはじめたきっかけは？

最初は、中学生の時に公民館主事さんから、軽く声を掛けていただいたのがきっかけでした。

私の夢は、小学校の先生になることです。

子どもが大好きで、中学生になると小学生と遊べる機会もないし、良い機会だなど思い参加してみました。当時は、ただ



うず ひろみ
宇津 博美さん

■伊予市双海町下灘出身 現在大学2回生
双海地区でジュニアリーダーを始めて今年で7年目を迎える。現在は、活動に参加する傍ら後輩の指導など育成にも努めている。

●ジュニアリーダーとは？
中学生や高校生が中心となって地域社会の振興を図るもので、主に子どもたちの自主的な活動をサポートする役割を担います。

子どもたちと遊ぶことができる、そんな単純な思いからでした。

●どのような活動を？

現在、双海地区にはジュニアリーダーが約30人いますが、主に「双海町子ども教室」という体験活動の一環で、ふるさと体験塾・おもしろ大作戦・わくわく生活体験夕焼け村という事業を中心に年間を通していろんなイベントにも参加して、子どもたちにも参加して、サポートをしています。



いつも一緒に活動するジュニアリーダーたちと (後列左から3人目が宇津さん)

●やりがいは？

体験塾等を卒業した子どもたちのささいな行動や言動などから成長が垣間見られること。そして何より地域の皆さんから「ジュニ

アリーダーがいてよかった」という一言をいただいた時は、やってよかったなと思うし、本当にうれしかったです。



子どもたちにアドバイスを送る宇津さん「わくわく生活体験夕焼け村」の様子

●将来の活動目標は？

今は学生ですが、就職しても時間が許す限り、少しでもこの活動に関わっていききたいです。

私の身近に、ほかの学校に転勤されても帰ってきて活動に参加されている先生もいますが、本当に尊敬しますし、それが私の理想です。また、一緒に活動した子どもたちが、ここで感じたことを大人になっても大事にしてほしいし、続けていってもらいたいです。

編集後記

若葉が目にも美しい季節になりました。議会だよりも今回で第40号を迎えました。

表紙には、昨年市民によるワークショップを経て誕生したブランドロゴマークを使用し、議会としても合併10周年を迎える本市を市外・県外へPRすべく、デザインを一新しました。

今、地域の将来像を描く地方創生の始まりです。地方創生の中心は「ひと」です。いかに光をあて、地域の特色を生かし、底力を引き出す取り組みができる議員であるかが問われています。

「ひと」にスポットをあて、より市民の皆様親しみやすい議会だよりを目指し、委員も日々精進してまいります。

文責門 田 裕 一

- 議会広報調査特別委員会
- 委員長 門 田 裕 一
 - 副委員長 日 野 猛 仁
 - 委員 三 好 正
 - 委員 大 野 鎮 司
 - 委員 高 田 浩 司
 - 委員 正 岡 千 博